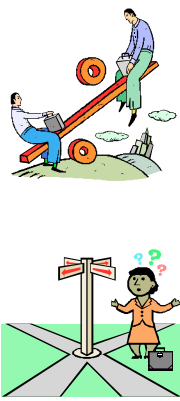


# 我が家の経営検討会

角田市アグリパソコン研究会（面川義明会長）では、九月四日（八日の五日間、会員を対象に個別の経営相談会（我が家の経営検討）を開催しました。

これは農業簿記のデータを所得申告だけで終わらせるのではなく、蓄積したデータを経営に活かそうと財務諸表の見方、読み方等具体的な活用方法について、昨年に続き開催したものです。

今回は、大河原農業改良普及センターの経営担当職員の方々を中心に、個別面談により過去3年間の決算書から、経営財産（貸借対照表の部分）と経営収支（損益計算書の部分）の動き、生産活動による資金の収支、財務運営による資金の対応の動きを明か（確認）にしながら、財務の点検チェックを通じ、話し合いながら我が家の財務（お金の課題から生産活動の課題へ）の課題整理を行いました。期間中十八名の会員（中にはご夫婦で）が訪れ、それぞれ実際のところを確認しながら検討表を作成、今後の経営の一助になるよう真剣に取り組んでいました。



# 角田市農業経営者会議の総会が開催されました。

角田市農業経営者会議（面川義明会長）では、九月十三日、ジエイエイ仙南サービスマビルあいいセンターにおいて、平成十八年度の通常総会を開催しました。

総会の議長には西根の三浦徹さんを選出し、平成十七年度の事業報告と収支決算報告、平成十八年度事業計画（案）及び収支予算（案）について審議され、原案どおり承認されました。

特に今年度は、農業先進県と言われる県に出向き、法人経営を含め全国でも有数の経営体の事業や農業に対する考え、取り組みを視察することが承認されました。



この他にも、昨今の農業情勢から単に組織に入っていれば安心ということではなく、今後は経営者として個人の意識、意志表明が重要になり、その個別経営者の拠り所が角田市農業経営者会議であること。農業振興公社を窓口に行方から心算の予算措置をいただいていることを再認識しました。

また今後は、公社事業、あぶくま農学校を主体的に活用すると共に、担い手経営者の組織として公社に対するサポート、意見提言等を行っていくことも確認されました。

# 地区水田受託者連絡会

十月二十日から十二月四日の間に、各地区において水田受託者連絡会全体会が開催されました。連絡会全体会においては、地区水田受託者連絡会での協議事項が無い場合の全体会の開催方法等が協議されました。

また、事務局からの提案事項として「農地の面的な集積を推進するための意見交換」を行いました。

今後、水田農業経営を見直す上で重要課題となる事項について貴重な意見交換となりました。

今年度においても、農業者の方々の大きな事故等が無かったため、臨時に水田受託者連絡会を開催しての利用調整が無かったことは、たいへん喜ばしいことです。

